

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

Vol.4



敦賀市の観光について

今年度予算に「敦賀ムゼウム整備事業費」が計上され、今あるムゼウムの他にムゼウムを4棟建設するため動き出そうとしています。建設費用は12億円、利用料金収入(目標の10万人の来館者が来たとして)を差し引いた維持管理等の経費も、毎年2,680万円の負担と試算されています。

2018年度の予算は9,210万6千円(内3,289万円が国の負担)ではありますが、来年度以降、大きな予算が見込まれています。確かに2022年度末の北陸新幹線・金沢～敦賀間の開業を見据えたまちづくりも大切であります。しかし、観光事業に大きな予算が配分されることで、ご高齢の方や障がいのある方のための福祉予算や、子どもたちのための教育予算等が圧迫されることも危惧されています。実際に敦賀市へ来られる観光客の8割を占める関西・中京方面の方々は、「敦賀市にはハコモノが多い」と感じておられ、敦賀市へ来られる理由は、「豊かな自然や美味しい食を求めて」とのアンケート結果も出ているなか、新たなハコモノ建設には疑問が残ります。

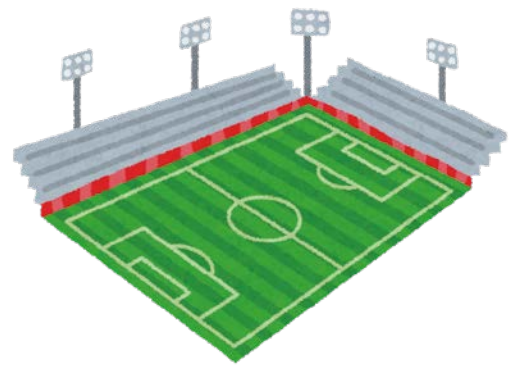


ムゼウム復元4棟イメージ案
(敦賀港レトロ浪漫ARアプリより)

費用対効果の視点で

では、今後財政が厳しい見通しである敦賀市にとって、これからもハコモノ行政を続けていくのか?ハコモノには多くの維持管理費用が必要になります。実際に、敦賀市に多くあるハコモノ施設は、毎年税金から多くの費用を負担して指定管理を依頼された会社が運営しています。市民が利用できる福祉施設や教育施設等においては、市民の健康促進や教育的観点から、敦賀市の持ち出しは当然ですが、観光施設においては費用対効果の視点が必要になると考えます。今ま

でもスポーツ施設や公園の整備等の提言を行っていますが、ハコモノに頼らなくても市外・県外から多くの人を誘致できる政策があることは、先日閉会した福井しあわせ元気国体および元気大会の盛り上がりを見ても明らかではないでしょうか。



敦賀市の将来を見据えて

私は、敦賀市の豊かな自然が大好きです。4人の息子たちも敦賀市が大好きで、この故郷で健やかに育ってくれています。その息子たち世代、そして息子たちが将来結婚して子どもが生まれた時の敦賀市をいつも見据えています。今の子どもたち、将来の子どもたちが、この故郷でこれからも健やかに育っていけるよう、将来の敦賀市のことを常に考え活動しています。また、11期に渡って経営してきたコンサルティング業の経験を生かして、北陸新幹線・金沢～敦賀間の開業を見据えたまちづくり等の敦賀市のお金の使い方について、しっかり提言していく所存であります。



金ヶ崎周辺エリアの将来イメージ案

20年先を見据えて活動しています

心のバリアフリーが大切

障がいのある人にとって暮らしやすいまち、子どもや高齢者、もちろん大人も含め誰もが暮らしやすいまちだと確信しています。障がいのある人が幸せに暮らす社会の実現のためには、私たちも障がいのある人への今まで以上の配慮が必要になります。

障がいのある人のマークの周知度

内閣府の世論調査(平成29年8月調査)において、障がいのある人のマークの周知度は、障がい者のための国際シンボルマーク(車いすマーク)は、ほぼ100パーセントの人が「知っている」と答えているのに対して、身体障がい者標識は

65パーセント。盲人のための国際シンボルマークは52パーセント。それ以外は、認知度が大幅に下がり、ヘルプマークは9.5パーセントとなっています。この認知状況を鑑みて、障がいのある人に関するマークの普及促進を提言しました。定例会後には、広報敦賀等での広報活動を実施してくれています。

障がいのある人に関するマークを知ろう

ヘルプマーク



義足や内部障害など、外見からわからない障がいのある人や、妊娠初期の方などが周囲に配慮を必要としていることを知らせるためのマークです。

障がいのある人などが支援を求めやすい環境を作るために、障がいのある人などに関するマークの種類や意味を知りましょう。市のホームページに主なマーク13種類の説明を掲載しています。

障害者支援マーク 敦賀市 検索

広報敦賀10月号より

通学路の安全確保について

平成24年4月の亀岡市登校中児童らの交通事故を受け、平成24年度には小学校区、平成25年度には中学校区を対象に、学校、教育委員会、道路管理者、警察による合同点検および安全対策を実施しました。その結果、敦賀市で93カ所あった危険個所の内、88カ所はグリーンベルトや横断歩道の設置等を実施しましたが、対策が難しいところでは自転車を押して歩く等の対応を行っているのが現状です。

事故が起こってからでは遅いのです

亀岡市登校中児童らの交通事故のご遺族が平成28年4月に敦賀市へ来てくださり、お話をさせていただく機会をいただきました。

「豊田さん、あの事故が起こるまで、私も通学中の子どもたちに車が突っ込むことは考えていませんでした。まして、自分の娘が事故に巻き込まれて亡くなってしまうことなんて…、全てがまさかでした。しかし、今は違います。何が起こるかなんて誰も分からない。だから何が起こるか分からないことを想定して対策を考えていかなければならないのです。」



この思いこそが、日本中での通学路の合同点検に繋がったのです。

事故をなくすための整備が必要

- ① 通学路を変更してはどうか。
- ② 自転車が通る歩道を広げることができないか。

の2点について何度も現場を確認して検討を行い、関係機関に依頼を行いました。その結果、国道8号の歩道で、自転車を押して歩いている歩道の一部区間(歩道の幅員が1.7メートルと狭くなっている区間)の拡張工事が決定しました。

コミュニティバスを通学に活用

積雪時にコミュニティバスを利用する生徒が大幅に増加することで、コミュニティバスに乗ることができないといったご意見を多く頂戴していました。また、学校の始業終業時間とコミュニティバスの時刻が合っていない等のご意見も頂戴していましたので、提言を続けて一部ダイヤと路線の変更が実施されました。これからは子どもたちの安全を見守っていく所存であります。

通勤・通学が便利に!

市内の中学・高校・大学生向けに路線が変更されましたので、通学が便利になりました!

【例】

- 敦賀駅～松葉町～榎川～沓見 (松陵中、敦賀気比高校、市立看護大学)
 - 気比中前～山泉台～国立病院～運動公園 (気比中学校、敦賀気比高校、市立看護大学)
 - 山～ひばりヶ丘町～公文名～野神～敦賀高校前 (敦賀高校)
- など、他にも路線・ダイヤが変更されました。

また、需要の多いJR北陸本線の通勤・通学に合わせたダイヤ変更がされます。

- ・JR敦賀駅 7:05発、7:22発→福井駅行き 電車
- ・JR福井駅→敦賀駅 18:36着、19:06着 電車

上記の発着時間に合わせて、
中央線(敦賀駅～西・沓見方面)、
金山線(敦賀駅～粟野方面)、
松原線(敦賀駅～松原方面)
のダイヤが変更されます。

編集後記

敦賀市議会議員として、約4年間活動させていただきました。自分では何事にも全力で取り組むことができたと思っていますが、至らないところもあったのではないのでしょうか。敦賀市のお金の使い方について提言する立場であり、また皆様の税金から報酬および活動費を頂戴している立場でもありますので、これからは自分自身を律して、4人の息子たちにも恥じぬよう市議会議員として活動させていただきたい所存であります。これからもどうか宜しくお願い致します。



豊田こういちレター Vol.4

2018年11月22日発行

発行責任：同志会 編集責任者：豊田耕一

(このニュースレターは政務調査費の一部を活用し、発行しています)

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員 **豊田 耕一**

〒914-0302 敦賀市疋田41号10番地 TEL.090-7116-9049

豊田耕一オフィシャルサイト: toyodakouichi.net

E-mail: inforu.toyoda@gmail.com

ブログ: http://ameblo.jp/artracing

日々の取り組みや、思いを毎日更新しています。

豊田耕一 検索

